



ご挨拶



取締役 兼 代表執行役
最高経営責任者（CEO）

池田 英一郎

HOYAは1941年に光学ガラス専門メーカーとして創立以来、つねに時代の潮流・ニーズを先取りした製品の提供に力を注いできました。現在、HOYAの事業領域は、半導体製造用部材やHDD用ガラスサブストレート、メガネレンズやコンタクトレンズ、さらには医療用内視鏡など非常に多岐にわたっています。

2022年3月の代表執行役CEOへの就任以来、私は事業ポートフォリオのレビューならびに新規事業機会の探索に注力してきました。当社グループには10を超える事業部があり、それぞれの事業が属する産業、地域別のエクスポージャーや顧客、景気循環や為替変動への感応度などが大きく異なります。当社はこれまでも、継続的な事業ポートフォリオの組み換えにより、グループ全体をより筋肉質なものとしてきましたが、改めて事業ごとの現在のポジション、中長期における成長シナリオなどを精査しています。また、成長途上にある事業がある一方で、既に成熟期にある事業もあり、M&A/内部開発の両面から長期成長事業の開拓を進めています。内部開発については、事業の垣根を越えた研究開発と事業化を促進するHOYA Incubation Laboratoriesを立ち上げ、今後の10年～20年の持続的成長に資する技術シーズを育ててまいります。

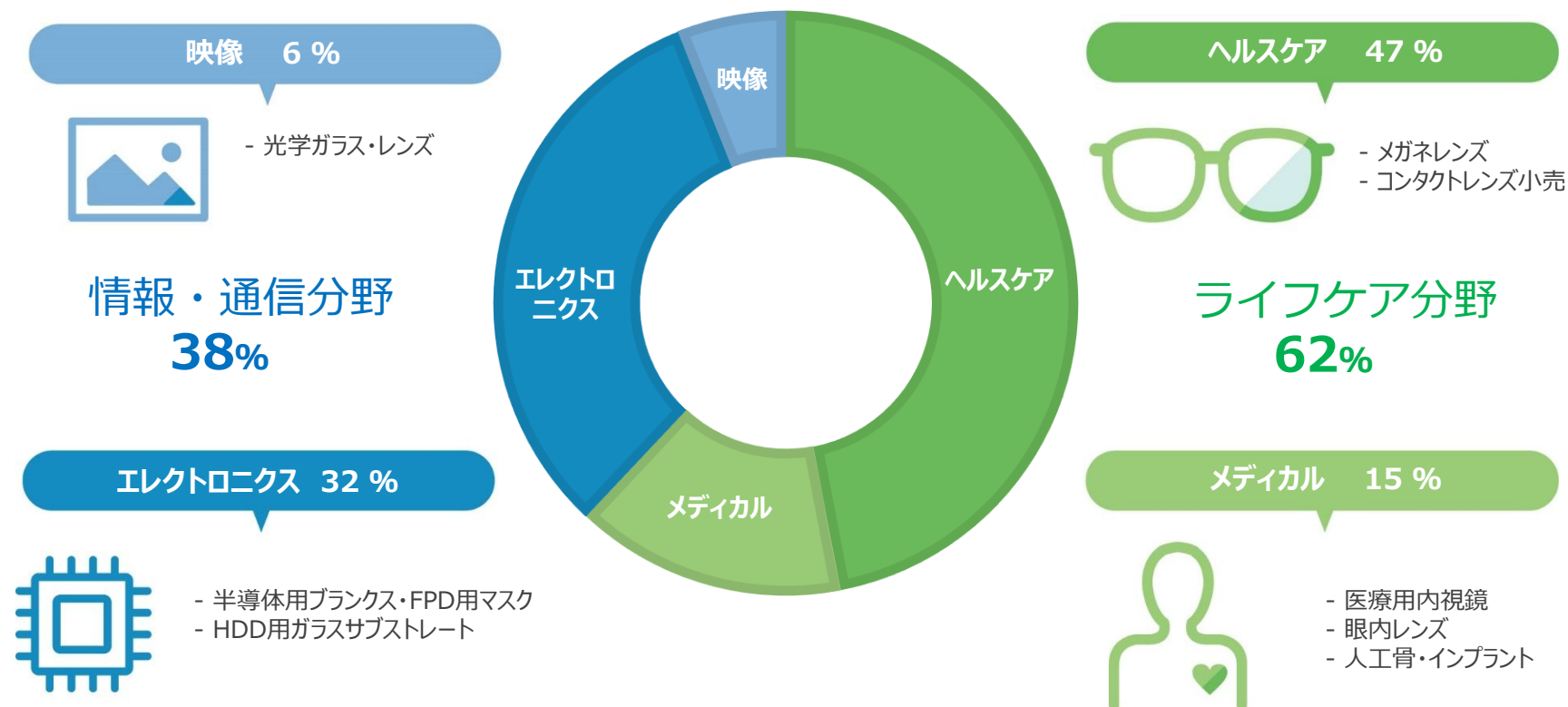
ESG/サステナビリティについては、2022年3月に着任したChief Sustainability OfficerならびにESG専任部署（ESG推進室）のもと、再生可能エネルギーの段階的な導入や人的資本への取り組みなどを実行に移し、着実に成果を上げています。また、経営層の評価へのESG指標組み込み比率を高めるなど、仕組みの面でも強化を図っています。

地政学的リスクの高まりなど、私たちを取り巻く環境は日々大きく変化しています。しかし、当社はリスクと機会を分散させた事業ポートフォリオによりグローバルに点在する商機を取り込み、安定的に企業価値を高めてまいります。今後も、お客様やパートナーの皆様、そして社会に選ばれる存在となるべく、グループ一丸となって邁進してまいります。引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業ポートフォリオ

HOYAでは「事業ポートフォリオ経営」「小さな池の大きな魚」の考えのもと、ライフケアと情報・通信の2つのセグメントにおいて競争力の高い事業を展開しています。世界的な高齢化と新興国市場の生活水準の向上により市場の拡大が見込まれるライフケア分野、情報化社会の進展により市場成長が見込まれる情報・通信分野に効率的に経営資源を配分し、社会価値と企業価値の持続的な向上をはかっています。

連結売上高 9,477億 49百万円



競争力

当社の事業戦略は“小さな池の大きな魚”。自らの強みを発揮できる領域にフォーカスし、技術力やマネジメント力といった競争力を発揮して、その市場における高シェア企業となることで、その領域で最大の利益を獲得するという考え方です。

情報・通信分野

世界シェア
NO.1

半導体用
マスクブランクス

世界シェア
NO.1

FPD用
フォトマスク

※Generation 10を除く

世界シェア
NO.1

HDD用
ガラスサブストレート

世界シェア
NO.1

光学レンズ

ライフケア分野

メガネレンズ

世界シェア
NO.2

コンタクトレンズ
小売

国内シェア
NO.1

医療用内視鏡

世界シェア
NO.3

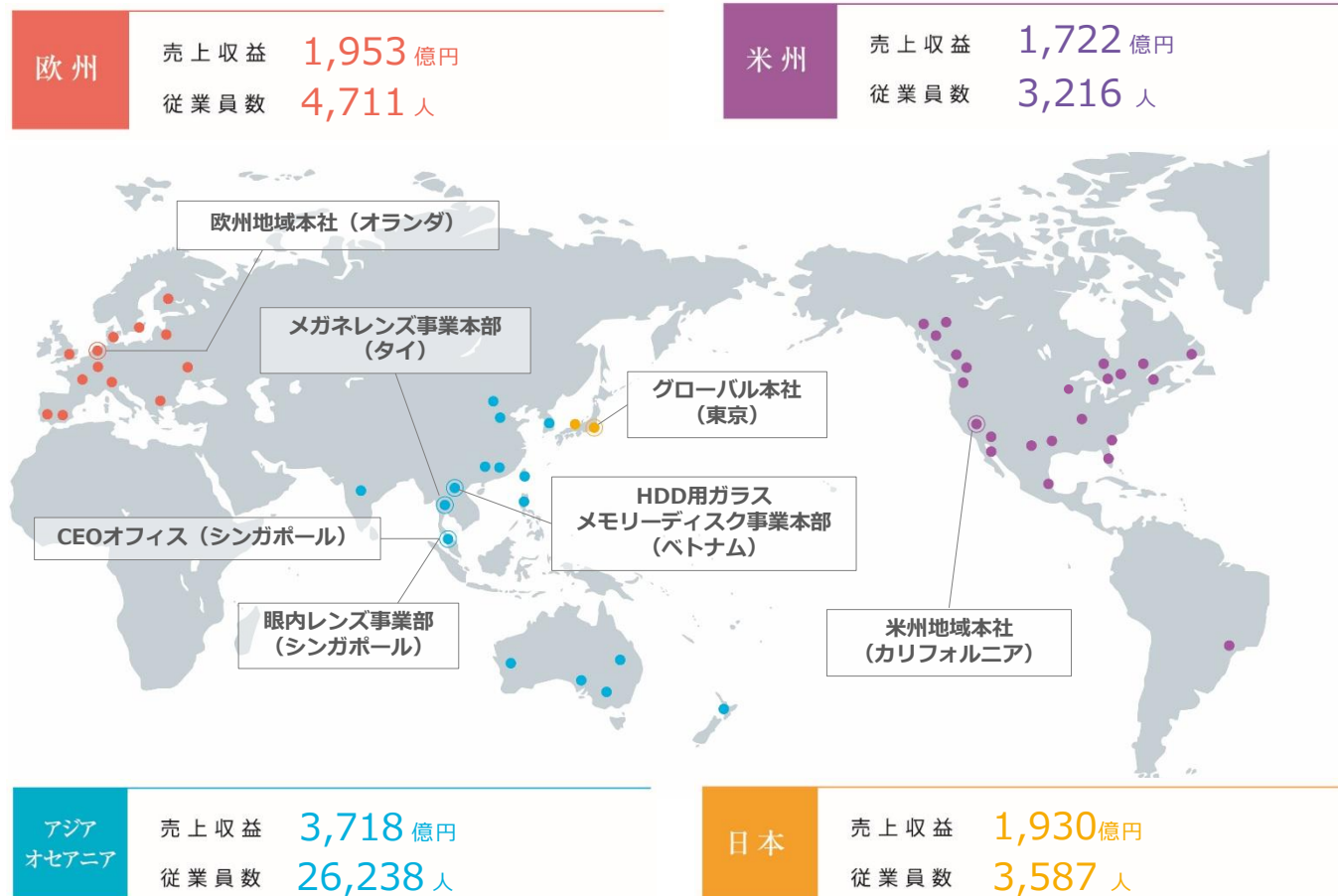
白内障用眼内レンズ
セラミックス
人工骨

国内シェア
NO.1

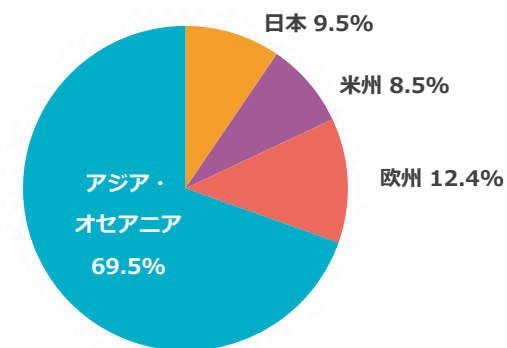
グローバル展開

HOYAは、グローバルな視点で効率的な企業運営を行うため、最適地での経営判断、研究開発、生産、販売を推進しています。海外売上収益比率は80%、従業員の約90%が海外で活躍しています。

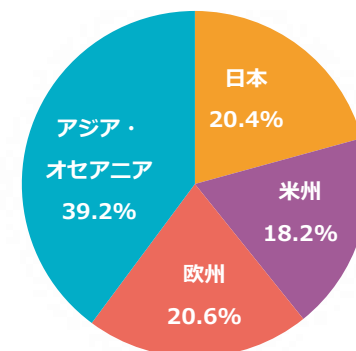
主な事業所および工場 グループ連結会社数 131社（国内7社、海外124社）



従業員構成比



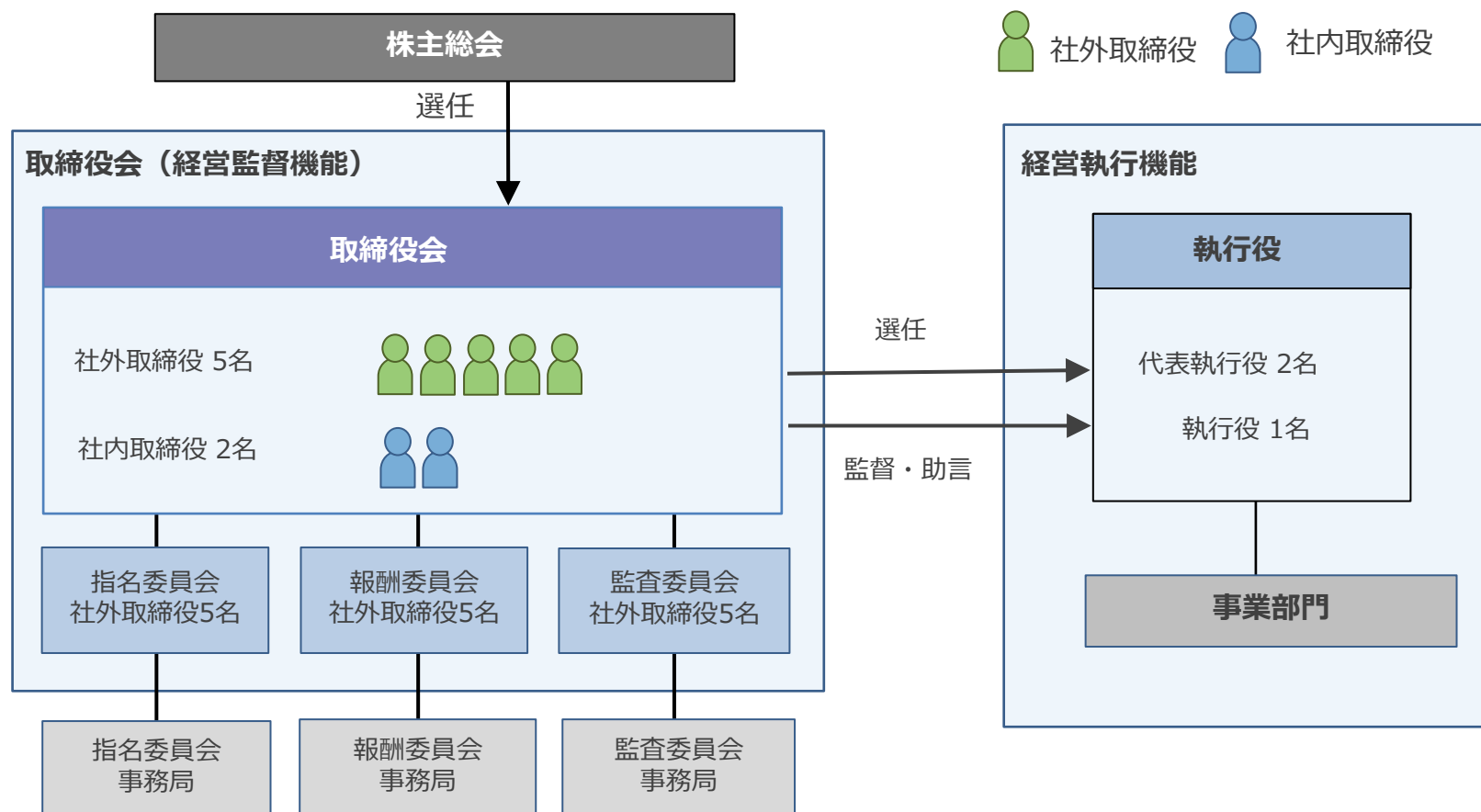
地域別売上収益構成比



ガバナンス体制

当社の採用する指名委員会等設置会社では、業務執行権限を執行役に委譲することでスピーディーな事業運営を実現する一方、指名・報酬・監査の委員会全員が社外取締役で構成され、取締役会による経営監督の実効性が担保されています。従来の監査役設置会社では明確に区分できなかった経営の執行と経営の監督をより明確に分離した体制をとることで、経営の効率性の確保ならびに健全性・透明性の向上を目指しています。

コーポレートガバナンス体制模式図（2026年6月26日）



ライフケア分野

ライフケア事業は、人々のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）に大きく関連する医療用内視鏡やメガネレンズ、眼内レンズなど、人々の生活に欠かせない製品を提供しています。

メガネレンズ

優れた光学技術を基盤にHOYA独自の思想で設計された非球面レンズは、より薄く、より軽い装用感と、自然な視界を実現します。



コンタクトレンズ専門店 「アイシティ」

国内最大級の出店規模を誇るアイシティは、お客様への最適な商品のご提案と、世界大手メーカーの幅広い商品ラインナップを提供しています。



医療用内視鏡

スコープの幅広い製品群と質の高いアフターサービスで、消化器、耳鼻咽喉、呼吸器などの診療領域において、診断・処置・治療および医学研究に貢献しています。また内視鏡自動洗浄機も提供しています。



医療用処置具

医療現場の様々なニーズにお応えした信頼できる腹腔鏡下手術デバイスを提供しています。ディスポーザブルとリユースブルを融合した、当社独自の"リポーザブル"製品は、すぐれた処置性能に貢献しています。



白内障用眼内レンズ

眼内レンズは、手術により白濁した水晶体を取り出した後に挿入する人工水晶体です。HOYAでは、極小切開創から挿入できるフォルダブルソフトレンズと手術を簡便に行うインジェクターを扱っています。



骨補填材・インプラント

骨の欠損部の補填や、骨折部の接合に使われるセラミック製および金属製のインプラントや、バイオ医薬品の開発・製造や細胞培養に使われるバイオセラミックスを取り扱っています。インプラントは主に日本国内の医療機関に向けて、クロマトグラフィー用バイオセラミックス担体はディストリビュータにより世界中の製薬企業や研究機関に向けて販売されています。



情報・通信分野

創業事業である光学ガラスをはじめ、HOYAの製品が日々進化するデジタル製品の発展を支えています。人々の暮らしをより豊かなものにするため、最先端領域での技術革新を続けています。

半導体用 マスクブランクス・フォトマスク

半導体チップの製造工程において不可欠なブランクスとマスクは、半導体の微細で複雑な回路パターンを半導体ウエハに転写する際の原版となります。HOYAは独自の技術で高い付加価値を提供しています。



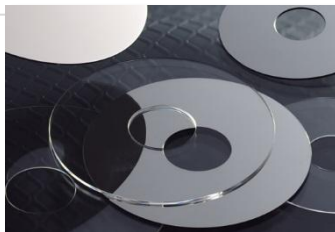
FPD用フォトマスク

テレビやPC、スマートフォンのフラットパネルディスプレイを作るときに使う回路の原版となります。半導体用フォトマスクの開発製造で培った技術を活かし、高品質で高精細な製品をパネルメーカーへ提供しています。



HDD用ガラスサブストレート

ガラスサブストレート（基板）はHDDにおいてデータが書き込まれる重要な部品です。主にデータセンターにおいて、メールや写真、動画など日々生み出される膨大なデータの格納に役立てられています。



光学ガラス材料・光学レンズ

高度な設計技術を生かしたHOYAの光学レンズはデジタルカメラ、ウェアラブルカメラ、車載用カメラなどさまざまな用途向けに供給しています。高品質な光学ガラス製品を通じて、進化を続ける光技術を支えています。



近赤外用偏光ガラスCUPO

銅を微量添加することで偏光特性を持たせた光学部材のCUPOは、光トランシーバー、光変調器、波長選択スイッチなどの用途で使用されています。AI市場の拡大による光トランシーバー需要の急増と通信の高速化を背景に、効率的な光データ伝送が可能なCUPOの需要が高まっています。



会社概要

□商号	HOYA株式会社 (HOYA CORPORATION)
□本社所在地	〒160-8347 東京都新宿区西新宿6-10-1 日土地西新宿ビル 20F
□電話	(03) 6911-4811 (代表)
□代表者	代表執行役最高経営責任者 (CEO) 池田 英一郎
□創立	1941年 (昭和16年) 11月1日
□資本金	6,264,201,967円
□従業員数	37,752名 (2026年3月期連結)
□URL	https://www.hoya.com

役員

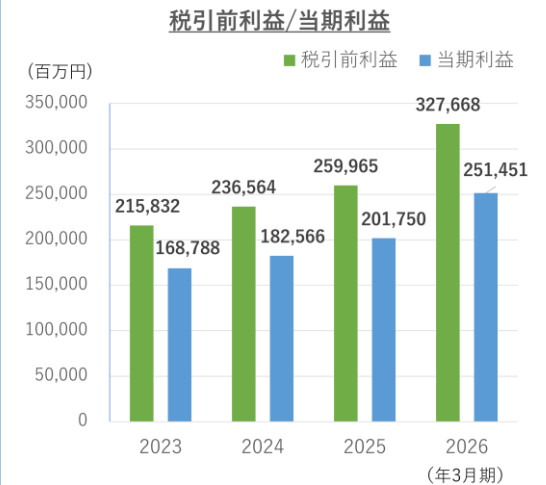
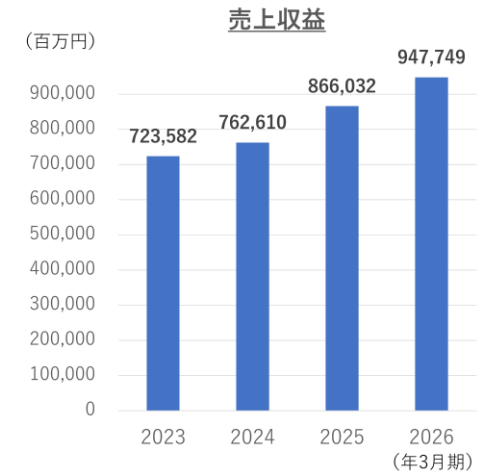
取締役

取締役 (社外)	吉原 寛章 (元 KPMGインターナショナル副会長兼グローバルマネージングパートナー)
取締役 (社外)	阿部 康行 (元 住友商事 (株) 代表取締役専務執行役員)
取締役 (社外)	長谷川 隆代 (SWCC (株) 代表取締役会長 取締役会議長)
取締役 (社外)	西村 美香 (GILDE HEALTHCARE PARTNERS, Operational Partner)
取締役 (社外)	佐藤 基嗣 (元パナソニックホールディングス (株) 代表取締役 副社長執行役員)
取締役	池田 英一郎
取締役	廣岡 亮

執行役

代表執行役最高経営責任者 (CEO)	池田 英一郎
代表執行役最高財務責任者 (CFO)	廣岡 亮
執行役 Chief Sustainability (ESG) Officer	中川 知子

財務情報 (連結)



2026年6月26日現在